

## 集会アピール

3.8 国際女性デーは、1857年にニューヨークの被服工場で多くの女性が亡くなった火災事故をきっかけとして、3月8日に行われた低賃金・長時間労働への抗議行動が起源と言われています。そして“女性の政治的自由と平等のために行動する記念日”と位置付けられ、賃金・労働条件の向上を表す「パン」と、女性の尊厳・人権の確保を表す「バラ」をシンボルに、世界各地で様々なイベントや運動が行われています。

連合は、1996年から春季生活闘争の中に国際女性デーを位置づけ、全国各地で統一行動を実施しています。また、男女間賃金格差をはじめとする問題の改善・是正、女性活躍推進、両立支援の促進、あらゆるハラスメント対策や差別の禁止など、ジェンダー平等、多様性が尊重される職場・社会の実現をめざして、通年の取り組みに加え、春季生活闘争の機会をとらえ、各組織において取り組みを進めています。

そうした不断の努力の積み重ねにより、出産後も働く女性が増え、女性の年齢階級別労働力率のM字カーブの底は浅くなり、管理職などに占める女性の割合が上昇するなど着実に前進しています。しかし、若い世代を中心に仕事と生活に対する意識も変わる中、依然として長時間労働が課題であり、ジェンダー平等の観点からも長時間労働の是正に取り組まなければなりません。

本集会のテーマは、“誰もが働きやすい職場をつくり、多様性を認め合う社会を実現しよう！”です。基調講演では、労働組合調査からみた男女間賃金格差について、事例紹介では、女性の健康課題、カスタマー・ハラスメント対策、長時間労働の是正について報告がありました。

私たち一人一人ができることを考え行動し、労働組合の強みを活かした力の結集で、めざす社会の実現に向けて、歩みを加速させることが重要です。本集会を契機とし、誰もが多様性を認め合い、互いに支え合う、公正な職場・社会を実現していきましょう。

2026年3月6日

連合 2026 春季生活闘争 3.8 国際女性デー 全国統一行動 中央集会